

【3. 学生及び研究者支援】 ②被災大学の学生、教職員への支援

支部名	大学名	活 動 実 績
北海道	北海道大学	<p>○附属図書館で被災地の学生・教職員への図書の貸出や、閲覧個室やインターネットの利用を可能にするとともに、自習室等を利用可能とすることにより、被災学生の自習環境を提供。(3月16日～)</p> <p>○被災学生を対象に、パソコンのHINES(本学が運用するネットワーク)への接続、教育情報システムの端末の使用、学内無線LANを使用したネットワークへの接続を提供。(3月23日～)</p> <p>○東北大学公共政策大学院の要請に基づき、同大学院に入学予定の札幌出身学生に対し自習機を提供する体制を整備。(3月下旬～5月上旬)</p>
北海道	北海道教育大学	<p>《全学》○東北地方太平洋沖地震被災大学の学生・教職員に対して、本学附属図書館(5館)の利用(インターネット利用等含む)及び貸出を学内利用者に準ずる内容で行っている。</p> <p>支援実績：札幌館 学生1名、旭川館 教員1名</p>
北海道	帯広畜産大学	<p>図書館で被災学生に貸出用の図書館利用証を作成した(5名)。</p>
北海道	旭川医科大学	<p>○電子ジャーナルや文献情報データベースの閲覧などが無料である旨をホームページでアナウンスしている。(継続中)</p>
北海道	北見工業大学	<p>被災大学に所属する学生・教職員に対し、図書館利用証の発行や図書の貸出等のサービスを提供している。</p> <p>また、被災大学に所属する学生・教職員から申請があった場合、情報処理センターのコンピュータ演習室・無線LANを提供する体制を整えた。</p>
東北	弘前大学	<p>03/18より被災学生に対する支援を開始。本学附属図書館の利用を希望する被災学生に対して利用者証を発行し、図書館資料及び学内ネットワークの利用を可能にした。</p> <p>3/22～4/30の間に東北大学、仙台大学、山形大学の学生9人が、合計30回図書館を利用した。</p> <p>URL:http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/guidetop/bulletin.html</p>
東北	秋田大学	<p>○被災大学学生及び教職員に対し、本学の学生と同様の条件で、図書館の利用を可能にした。(継続中)</p>
東北	山形大学	<p>○図書館で被災学生・教職員に対し、館内資料の閲覧・図書の貸出・パソコン利用サービスを提供した。</p> <p>○学生相談室を開放し、今回の震災に対する学生の心のケアを行った。</p> <p>○各指導教員をメンターとして配置し個別支援体制を強化した。</p>
関東・甲信越	群馬大学	<p>○被災された大学等の学生、教職員並びに地域の皆様に、当面の間、図書館利用サービスを提供</p> <p>URL：http://www.media.gunma-u.ac.jp/00/post_48.html</p>
関東・甲信越	埼玉大学	<p>○被災大学等の学生・教職員に対し、本学図書館の利用・図書の貸出を可能にした。(4月12日)</p> <p>http://www.saitama-u.ac.jp/announce/2011-0412-1625-1.html</p>
関東・甲信越	千葉大学	<p>○被災地の大学等に所属する方からの申し出に基づき、図書館の利用を許可している。</p> <p>本館8名、亥鼻分館1名、松戸分館1名</p> <p>http://www.ll.chiba-u.jp/news/news20110324.html</p>
東京	東京大学	<p>○被災地域の大学及び短期大学の学生・教職員に、図書館内資料の閲覧・複写が可能な臨時入館証を発行(平成23年3月～5月)</p> <p>http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/news/news/fuzokuto_11_03_23.html</p> <p>○被災地域に所属の教員・研究者・医療従事者(学部学生除く)に対し、本学が契約する電子ジャーナル等のアクセスを東京大学SSL-VPN Gatewayサービスを通じて提供(同年3月～5月)</p> <p>○京都大学と連携し、国立大学図書館協会として東日本大震災対応HP「被災した大学に所属する教職員、学生向けの図書館サービス案内」により各大学の被災大学等の教職員、学生への支援情報を提供(同年3月～)</p> <p>http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/janul/</p>

【3. 学生及び研究者支援】 ②被災大学の学生、教職員への支援

支部名	大学名	活 動 実 績
東京	東京医科歯科大学	○被災大学から来館した学生に対し、本学図書館の利用を本学学生と同様に利用できるよう配慮した。(3月1名、4月1名、6月1名、7月1名)
東京	東京外国語大学	○附属図書館において、被災した大学等に所属する学生・教職員に対し、館内資料の閲覧・複写、貸出を可能にした。(4月～12月)
東京	東京学芸大学	・被災地域の大学等に所属する学生及び教職員に対し、図書館での館内資料の閲覧、複写、図書の貸出及び館内PCの利用を可能にした。
東京	東京農工大学	○被災した大学・短期大学・高等専門学校に所属する学生・研究者等の方のうち、府中市又は小金井市とその周辺地域に避難等されている方に対して、図書館の利用を可能にしたところ、希望があった2名の者に図書館利用カードを発行した。
東京	東京藝術大学	○上野本館館内パソコン室内におけるインターネット端末の利用 ○上野本館において資料の貸出(身分証を提示し、貸出冊数3冊・貸出期間2週間を実施)
東京	東京工業大学	○附属図書館におけるサービスを被災学生・教職員が利用できるよう体制を整備。 http://www.libra.titech.ac.jp/news/20110318tohokudai.html ○理学部・大学院理工学研究科において、関東圏に帰省している被災地の大学生、大学院生へ無線LANの使用を可能とした。(3人が利用)
東京	東京海洋大学	図書館で、被災地の大学等の所属者に対し、資料の閲覧・複写・貸出・館内パソコンの利用を可能にした。(従来より所属の区別なく、図書館を開放してきたが、震災に際し、改めてホームページに掲載し、利用できることを広報した。)
東京	お茶の水女子大学	○図書館で臨時入館証を発行して、受け入れ態勢を整備(4月末まで実施)
東京	電気通信大学	○被災地域の大学に所属する方に、図書館資料の閲覧、貸出、複写等を利用可能とし、本学図書館及び国立大学図書館協会のホームページに載せた。東北大学の学生が2回来館した。(4月30日) ○電気通信大学学園活動後援会の寄付金から、3万円の修学支援一時金を本学の対象学生24名に支給した。(7月11日)
東京	一橋大学	○一橋大学基金「東北地方太平洋沖地震奨学一時金」を創設、4名に給付を行った。二次募集を行い、新たに4名に給付を行った。 ○如水会会員の義捐金により一橋大学「東日本大震災奨学金」を創設、7名に対し標準修業年限まで奨学金を支給している。 ○図書館で被災した大学に所属する教職員・学生に対し、閲覧席の利用及び図書の貸出を可能とした。(4月30日まで実施)
東京	政策研究大学院大学	○図書館で被災学生に対し閲覧・貸出等の利用サービスを提供(4月末まで)。 http://www.grips.ac.jp/main/lib/news-j.html
関東・甲信越	横浜国立大学	○平成23年末まで、東北地方太平洋沖地震で被災した大学・短大・高専に所属する学生(入学予定者も含む)・教職員で緊急の帰省や避難等をされている者に対して本学学生とほぼ同じ条件で附属図書館を利用可能とし、被災学生3名を受け入れた。(提供サービス:資料の閲覧貸出、施設の利用、館内複写機の利用、電子ジャーナル・データベースの利用、PCの利用)【附属図書館】 ○特別受入としてユーザーIDを発行し、インターネット利用を可能とした。【情報基盤センター】(発行数 5) http://www.lib.ynu.ac.jp/hus/lib/3233/
関東・甲信越	新潟大学	○図書館では、被災大学の学生及び教職員に本学在生と同等に、施設の利用、資料の閲覧・貸出等の利用環境を整備した。(利用カード発行者23人、閲覧者延べ100人) ○実務法学研究科では、東北大学及び東北学院大学の両法科大学院学生に対し、研究室、パソコンの利用環境を整備し、東北大学大学院生2人が利用した。
関東・甲信越	長岡技術科学大学	・図書館で被災学生の受入れに対し図書の貸し出しや電子ジャーナル閲覧、無線LANの利用を可能にした。

【3. 学生及び研究者支援】 ②被災大学の学生、教職員への支援

支部名	大学名	活 動 実 績
関東・甲信越	上越教育大学	○被災した大学の学生・教職員及び入学予定者に、図書の閲覧、貸出等を可能とした。（3月18日）
関東・甲信越	山梨大学	○附属図書館で被災学生に対し、図書館利用（インターネット含む）カードの発行及び24時間特別利用を可能とし、5月7日まで実施した。
関東・甲信越	信州大学	○図書館で被災地域の学生・教職員に限らず全ての人を対象に、図書の貸出、文献複写、パソコンの利用を可能にした。 URL: http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/library/information/2011/03/earthquake-sufferers.html
東海・北陸	富山大学	○被災した地域の大学の教職員・学生等への図書館サービスを開始（3月22日） ○被災した地域の大学の教職員・学生等への情報システム利用サービスを開始（3月29日）
東海・北陸	金沢大学	・東北大学から特別研究学生（大学院自然科学研究科）1名を受入（学寮に入寮） 〔4/27から2ヶ月間程度→7月末まで〕 ・図書館において、北陸3県在住者以外にも館外貸出を認めるとともに、自然科学系図書館の研究用個室の利用を可能とした ・総合メディア基盤センターにおいて、ネットワークIDの発行による学内の無線LANの利用を可能とした
東海・北陸	福井大学	○総合情報基盤センター内のPC利用及びインターネットへの接続を可能にした ○図書館については、学内者と同様の利用を可能にした ○本学学生及び福井県に避難している被災大学の学生に、福井大学生協の協力を得て教科書を無償提供するための体制を整備
東海・北陸	岐阜大学	・岐阜大学図書館で以下の各サービスを提供。 館内資料の閲覧、館内施設の利用、館内資料の文献複写、一般図書の貸出（本館のみ） ※ なお、被災地区大学からの依頼により、大学院生1名に対し、本学学生に準じた図書館利用を認めている（H24年3月末まで）。
東海・北陸	静岡大学	○各学部研究室で被災学生、研究者の受け入れに対し研究スペースの利用を可能にした。 ○図書館で被災学生、研究者の受け入れに対し貸し出しやパソコンの利用を可能にした。 ○学内保育施設の利用を可能にした。 ○学生、研究者の学内LAN利用及び研究者の受け入れに対し、サーバ（クラウド環境）、SNS（ソーシャル・ネットワーク・システム）等の利用を可能にした。 URL: http://www.shizuoka.ac.jp/th_earthquake/eq_taio.html URL: http://www.shizuoka.ac.jp/th_earthquake/eq_kisoku.pdf

【3. 学生及び研究者支援】 ②被災大学の学生、教職員への支援

支部名	大学名	活 動 実 績
東海・北陸	名古屋大学	<p>以下の支援を5月31日まで実施した。 03/16 東日本大震災で被害にあった大学に所属する方へ 下記の被災地域の大学に所属されている方は名古屋大学の図書館を利用することができます。 対象者：青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県の大学、短期大学の学生及び教職員 サービス期間：2011年3月17日～5月末日 中央図書館 1. 閲覧 受付カウンターでお申し込みください。 2. 貸出 貸出を希望される方は、特例として5月末期限の中央図書館利用証を発行しますので、受付カウンターでお申し込みください。 その際に学生証もしくは氏名、住所等が確認できるもの（免許証等）と通知のための官製葉書をお持ち下さい。 受付時間は、平日の8時30分～17時までです。 3. 研究個室 特例として、研究個室が利用できます。受付カウンターでお申し込みください。 その際に学生証もしくは氏名、住所等が確認できるもの（免許証等）をお持ちください。 4. 複写 5. 電子ジャーナル、データベースの利用 参考カウンターに相談して下さい。ただし、セキュリティ、契約条件により利用できない場合があります。 6. PC利用 ご持参のPCについては図書館内に電源があり、ご利用いただけます。インターネット（無線LAN）の利用は参考カウンターにお申込みください。その際に学生証をお持ち下さい。館内で貸出用PC（利用時間：平日8:30-17:00）が利用できます。参考カウンターにお申込みください。その際に学生証もしくは氏名、住所等が確認できるもの（免許証等）をお持ちください。 参考カウンター受付時間：平日8:30-17:00</p>
東海・北陸	愛知教育大学	<p>○被災大学の学生、教職員に対し本学図書館館内資料の閲覧、貸出及びコピー機の利用（有料）を行っている。（http://www.auelib.aichi-edu.ac.jp/lib/osirase/osirase.html#o200）</p>
東海・北陸	名古屋工業大学	<p>○図書館で被災学生の受入れに対し図書館サービスを提供した。 URL:http://www.nitech.ac.jp/other/anti_disaster_08.html</p>
東海・北陸	豊橋技術科学大学	<p>○被災地の大学等の学生・教職員の利用可能を案内（3月22日）</p>
東海・北陸	三重大学	<p>○三重大学附属図書館は学外の方も居住地域に関わらずご利用可能。 http://www.lib.mie-u.ac.jp/news/news.html#1056</p>
東海・北陸	北陸先端科学技術大学院大学	<p>附属図書館については、通常のサービスの範囲内で支援ができると判断し、特段の措置は行っていない。 インターネットの利用については、特別研究学生等の本学の身分があれば、利用可能である。</p>
近畿	滋賀大学	<p>○被災地の大学の学生及び教職員で、緊急避難や帰省のため滋賀県及び近隣に滞在されている方に、図書館での図書貸し出しを可能とする体制を整備 http://www.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=9/1/19/8:10</p>
近畿	京都大学	<p>・被災学生・研究者の受入れに対し図書館施設（電子ジャーナル、データベース、資料貸出）の利用 URL:http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/article.php?storyid=795 ・被災学生の受入れに対し情報環境（学内ネットワーク、インターネットへの接続、教育用コンピュータ）の利用</p>
近畿	京都教育大学	<p>筑波大学プールの震災被害による使用不能に伴い、8月上旬に筑波大学水泳部の合宿（プール及び休憩場所の提供）を本学にて受け入れた。</p>

【3. 学生及び研究者支援】 ②被災大学の学生、教職員への支援

支部名	大学名	活 動 実 績
近畿	京都工芸繊維大学	○図書館で図書資料の閲覧・複写・貸出や研修室、研究個室、AVコーナー等館内施設の利用を可能にした。 URL: http://www.kit.ac.jp/O1/shinsaitaiou.html
近畿	大阪大学	○附属図書館で被災地の大学に所属される方へのサービスとして、特別利用者票（来館利用）の発行及び文献複写の郵送サービスを行う体制を整備（5月末まで実施）
近畿	兵庫教育大学	・附属図書館では、3月18日より被災学生等の受入に対し、書籍の貸出、個人研究室及びパソコンの利用を許可した。 http://www.lib.hyogo-u.ac.jp ・入学料・授業料についても、申請・選考の上、全学又は一部を免除する制度も設けている。なお、平成23年度における申請者はなかった。
近畿	神戸大学	○被災地域の大学の学生・教職員の図書館サービスの提供（9月末で終了） http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/menu/us2011_03_18_01.htm ○被災者支援のための復旧復興関連文献の送信提供サービスの開始（5月末で終了） http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/menu/us2011_04_07_01.htm ○被災された大学関係者の方々へのアカウント発行 http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/support/index_html
近畿	奈良女子大学	○国立大学法人32大学理学部長会議の呼びかけにより、被災大学の学生及び教職員の他大学での図書館利用を可能にする支援活動に本学も参加し、3月22日より被災大学の学生・教職員に対して図書館利用の便宜を図る制度を設け、図書館ホームページ等で広報した。 4月末までに被災大学の学生・教職員3名に対して図書館利用証を発行した。 なお、総合情報処理センターに申請することにより、図書館内のPCの使用も可能とした。また、この情報は、3月23日付の国立大学図書館協会ホームページにも掲載された。
近畿	奈良先端科学技術大学院大学	○図書館で被災学生等に対し、貸出や電子ジャーナル・データベースの利用を可能にした。（実績はなかった） ○被災大学院生、研究者等に対する教育研究支援体制を整備 http://www.naist.jp/news/jisin_taiou.html
中国・四国	鳥取大学	○図書館で被災して県内等に滞在している方に対し、貸し出しやパソコンの利用を可能にした。
中国・四国	島根大学	○被災地の学生等への図書館利用のための体制を整備
中国・四国	岡山大学	被災大学の学生・教職員については、本学学生並の利用が可能となる扱いを行っている。（現在、8名が図書館利用カードの作成を行っている。） 閲覧、貸出、文献複写・現物貸借の利用、電子ジャーナル、データベースの利用実績 ○利用実績—東北大学：学生20人・教職員1人、筑波大学：学生6人、一橋大学：学生3人、茨城大学：教職員1人、東京大学：学生9人、早稲田大学：学生5人 ○利用期間—平成23年3月18日～平成23年5月6日まで
中国・四国	広島大学	○図書館の利用（貸出しを含む。）並びに教育用情報端末及びネットワークの利用ができるよう体制を整備 http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html
中国・四国	山口大学	○被災地域大学等の学生・教職員の図書館利用受入れ ○被災地域大学等の教職員のネットワーク利用許可 ○通信ネットワーク環境基盤のサポート（大学ホームページ・バックアップ等）

【3. 学生及び研究者支援】 ②被災大学の学生、教職員への支援

支部名	大学名	活 動 実 績
中国・四国	徳島大学	○被災した大学の学生・教職員に対する館内資料の閲覧、館内資料のコピー、図書の貸出等の学習・研究支援 URL http://www.tokushima-u.ac.jp/tohoku_earthquake_disaster.html
中国・四国	鳴門教育大学	○被災地域の大学の学生・教職員へ、本学図書館での施設利用、図書貸出等を可能とした。
中国・四国	香川大学	○東北・関東地区の大学に在学中の学生及び教職員で、緊急帰省等、震災のため、香川県に滞在せざるを得なくなった方を対象に、図書館サービス（貸し出しやパソコンの利用）を利用できるよう対応し、中央館で4名、工学部分館で2名の利用者があった。
中国・四国	愛媛大学	○図書館の利用について、被災地の大学の学生・教職員へ向けて、受入れ可能であることなどを改めて周知した。（3月29日） http://www.lib.ehime-u.ac.jp/cgi-bin/NEWS/disnews.cgi?sel=431&loc=1 ○教育用パソコンのアカウントを発行し、総合情報メディアセンター及び図書館でのパソコンの使用（インターネット含む）を可能にした。【東北大学生：2名】
中国・四国	高知大学	○被災学生・研究者に対し、①研究スペースの利用②図書館の利用及びインターネットの使用③研究スペース利用に伴う宿泊施設の提供について支援体制を整えた。
九州	福岡教育大学	○図書館で被災学生・教職員に対し資料の閲覧・貸出、インターネット利用を可能とする体制を整備した。（利用実績なし）
九州	九州大学	・被災地域の学生、研究者に附属図書館の利用を可能とした。 <被災地域の学生の利用状況> 中央図書館 12名（東北大9名、筑波大1名、東大1名、慶応大1名） 伊都図書館 4名（東北大3名、青山学院大1名）
九州	九州工業大学	○図書館において、被災学生・教職員の受入れに対し、館内資料の閲覧・複写及び貸出、施設（パソコン等）の利用を可能にした。その後、戸畑キャンパスにおいては、以下の利用があった。 ・3名の貸出用利用者カード作成（カード申請日：3/28、4/11、4/16） ・4名（上記カード作成者含む）の閲覧利用（延10回。閲覧のみ利用者閲覧開始日：3/23）及び3名の貸出利用（延13冊） 〔URL: http://www.kyutech.ac.jp/info/id420.html 〕
九州	佐賀大学	○ 附属図書館の利用を可能にした。 ○ 総合情報基盤センターの利用を可能にした。
九州	熊本大学	○附属図書館において、震災により熊本県（近隣）に滞在せざるを得なくなった関東・東北地方の大学に在学中の学生及び入学予定者を対象に、本学学生と同等のサービスを利用できることとした。（利用者4名）（平成23年3月18日～継続中） http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/cgi-bin/oldnewsview.cgi?rcid=200833 ○本学が加盟する大学eラーニング協議会が、ニフティ（株）、住商情報システム（株）とともに被災大学を支援するインターネットを活用した高度教育基盤の提供を開始し、本学からは情報基礎A、情報基礎Bの学習コンテンツを無償提供し、併せて、eラーニング活用法に関する相談にも対応することとした。（平成23年4月22日～継続中） http://www.kumamoto-u.ac.jp/pageimages/daigakujouhou/earthquake/uela.pdf ○理学部において、被災地域の大学の学生・大学院生および教職員が理学部の図書室を利用できることとした。（継続中） http://www.sci.kumamoto-u.ac.jp/index-j.html ○教員（1名）が教職員への支援として福島県立医科大学大学院において講義を行うとともに、福島県内の保健所保健師の被災者支援のための相談事業を行った。（平成23年8月8日、21日）さらに、福島県は精神科病床880床を災害でなくし、精神障害者が地域で生活することを余儀なくされており、精神科ケースマネジメントの地域支援システムを構築する必要があることから、福島県立医科大学看護学部との情報交換、助言を行っている。

【3. 学生及び研究者支援】 ②被災大学の学生、教職員への支援

支部名	大学名	活 動 実 績
九州	大分大学	東日本大震災で実家等が被災し、経済的苦境にある学生への支援制度を案内し、在学生1名（栃木県出身）から授業料免除の申請があった。 関東・東北地方の大学に在学中の学生及び入学予定者で、緊急帰省など震災のため、大分県近隣に滞在せざるを得なくなった方を対象に、本学学生と同等のサービスを利用できるようにしている。URL: http://www.lib.oita-u.ac.jp/news_arch/2010/news_0318.html
九州	宮崎大学	○図書館で、資料の閲覧・貸し出し、文献複写、電子ジャーナル閲覧、インターネット利用可能
九州	鹿児島大学	○鹿児島大学附属図書館中央図書館の支援 ・3月15日「東北地方太平洋沖地震」で被災された地域の大学・短大に在学中の皆様へ、帰省された際には、鹿児島大学附属図書館の中央図書館が利用できるよう措置。 ・資料の館内利用、資料の館外貸し出し（学生証あるいは帰省先住所の確認できる郵便物等を提示。）、その他、可能な限り本学所属の学生・教職員と同様の支援を行う。 ・附属図書館及び学術情報基盤センターで被災した学生等への学習支援を開始（3月15日） URL: http://www.kagoshima-u.ac.jp/about/shinsai.html ・被災された地域の大学・短大に在学中の学生・教職員の皆様へ（附属図書館） URL: http://www.lib.kagoshima-u.ac.jp/modules/bulletin/article.php?storyid=344 ○鹿児島大学学術情報基盤センターの支援 ・「東北地方太平洋沖地震」で被災された地域の大学・短期大学に在学中の皆様へ、帰省された際には、鹿児島大学学術情報基盤センターの端末（学術情報基盤センター及び附属図書館）が利用できるよう措置（利用希望があれば、学術情報基盤センターで利用申請書により申込みすれば、利用者証（ID・PW）の発行を行い学術情報基盤センター及び附属図書館の端末が利用可能） URL: http://www.cc.kagoshima-u.ac.jp/information/announce/post_2.html ○農学部の研究室としての支援 ・植物生理学会、植物学会の被災者支援掲示板に以下の内容を掲載 鹿児島に実家があったり親戚がいる（それに限定するものではありません）という研究者・院生の方で、研究を進めたいという方がおられましたら、直接ご連絡ください。 以下の支援が可能 1. 2-3名程度の植物研究者・院生の一時的受け入れ （我々の研究室の装備でできる実験なら可能、お問い合わせください）。 2. 植物等の栽培（培養室、ガラス室、圃場が使用可能） 3. -80℃、-20℃の冷凍庫の提供 4. コンピューター、インターネット環境の提供
九州	鹿屋体育大学	○被災大学の学生、教職員への図書貸出は、従来本学で実施している学外者への貸出と同様の扱いにより、貸し出し可能である。
九州	琉球大学	○帰省学生及び教職員の図書館利用について学外者貸し出しカードを発行し、学内学生及び教職員と同等の貸し出しをしている。 ○教員・大学院学生への研究個室の貸与可としている。 公表しているホームページ http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/?p=6052 ○熱帯生物圏研究センター・瀬底研究施設において、東日本大震災で被災した北里大学海洋生命科学部（岩手県大船渡市）の学生を3名受け入れ研究の場を提供した。なお、宿泊施設使用料については、無償とした。 6月→2名受入（1名：H23年6月13日～6月20日、1名：H23年6月1日～8月23日）その内、1名は、平成24年4月から本学理工学研究科に進学する予定。 7月→1名受入（H23年7月18日～H24年3月31日） ○農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター・与那フィールドにおいて、フィールドワークの場が津波被害を受けた宮城教育大学が「自然フィールドワーク実験」という授業科目を開講できるよう、施設及びフィールドを提供した（9/1～9/8、教員2名、学生7名）。滞在期間中に係る教育支援、滞在費援助を行った。 http://www.u-ryukyu.ac.jp/info/agr_lecture2011090901/